

東京工科大学 メディア学部

会期：2010年8月25日（水）12：00～8月27日（金）14：30 2泊3日

音楽、人や鳥や虫の声、水の音と身の回りには音があふれています。しかし、音は見えないので、音の中にどのような成分が含まれているのかは想像しにくいものです。このサイエンスキャンプは、まず、音を「見る」ことから始めます。楽器による音の違い、「あ」と「い」の違いなどを明らかにします。次に、いろいろな音の成分を組み合わせることで聞いて見ることにより、身の回りがどのような成分から成り立っているのかを実感できるようにします。最後に各自が創作した音を利用して音楽や映像作品を制作し、発表会を行います。

制作には本格的なソフトウェアや音響機器や録音スタジオを利用しますので、より実践的なコンテンツ制作を体験することができます。



会場

東京工科大学 メディア学部 講義実験棟S-Room
 東京都八王子市片倉町1404-1
 (JR横浜線「八王子みなみ野駅」下車、大学バス約10分)
 URL : <http://www.teu.ac.jp/>
 宿泊場所：マロウドイン八王子（予定）

募集人数

15名

キャンプのプログラム内容（予定）

東京工科大学で演習に用いている音響実験設備を用います。

音は、FMシンセサイザーやアナログシンセサイザーなどの機器を用いて制作します。音楽制作や、映像に音を付加する作業は音楽作成ソフト“Steinberg Cubase”を用います。また、スタジオを利用して声や楽器を録音することにより、より実践的なコンテンツ制作を体験します。

(1) いろいろな音

楽器の音や声はいろいろな高さの音が複雑に混じり合っています。このしくみを説明します。

(2) コンピュータで音楽制作

音楽は様々な楽器の音が組み合わせられて出来ています。コンピュータでそれぞれの楽器の音を操作します。

(3) 音を見てみよう

音を見るためには信号処理ソフトMATLABを用います。振動の様子や音の成分をカラーの図で描き出します。

(4) 音を操るには

音に特徴をつける工夫について解説します。

(5) シンセサイザーで音作り

映像につける効果音をアナログ・シンセサイザーやソフトウェア・シンセサイザーで制作します。

(6) スタジオ・レコーディング

映像に合わせてナレーションや動作音をスタジオを使用して録音します。

(7) 音楽や効果音を作ろう

映像に合わせてオリジナルの音楽や効果音を制作します。音を作るため、簡単なプログラミングも体験します。

(8) オリジナル作品制作

これまでに学んだ技術や手法を利用して、珍しい音や独創的な音楽を作ってください。

(9) 作品発表会

いよいよ作品発表です。同じコンピュータを使用しても、作る人によって様々な音が生まれます。他の人がどのような音を制作したかを見ることも重要です。

スケジュール（予定）

1日目 8月25日（水）

12:00 JR「八王子みなみ野駅」集合
 13:00～15:00 開講式、大学案内、施設説明
 15:00～16:00 いろいろな音
 16:00～17:00 コンピュータで音楽制作
 17:00～18:30 講師等との交流会

2日目 8月26日（木）

9:00～11:00 音を見てみよう
 11:00～12:00 シンセサイザーで音作り
 12:00～13:00 昼食
 13:00～14:00 音を操るには
 14:00～15:00 スタジオ・レコーディング
 15:00～18:00 音楽や効果音を作ろう

3日目 8月27日（金）

9:00～12:00 オリジナル作品制作
 12:00～13:00 昼食
 13:00～14:00 作品発表会
 14:00～14:20 閉講式
 14:30 解散【JR横浜線 八王子みなみ野駅】

1、2日目の夜は宿舎でミーティングを行います。